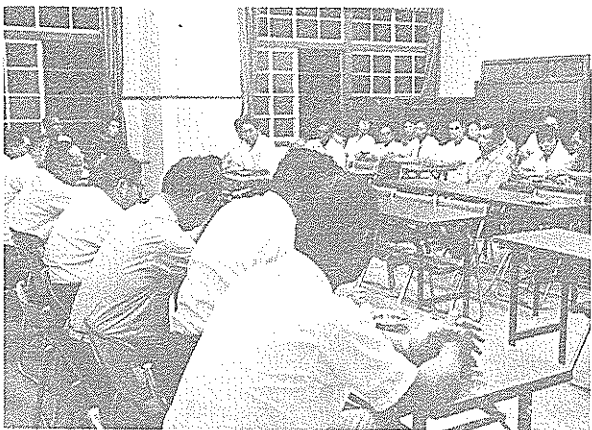


市政について、勉強会を

市政こん談会開かれる

長岡東部



長岡東部地区が、公民館事業の一つとして毎年開いている「市政こん談会」が九月四日夜、地元公民館で開かれました。

当日は、地元の人たち約三十人、また市側から国沢助役、門田教育長、関係課長らが出席。

まず、二宮純夫公民館長が「現在の市政の状態を聞き勉強するとともに、日頃もっている地区の問

題を執行部のみなさんに聞いてもらい、よりよい地域づくりに役立てていこう」とあいさつ。これに対して、門田教育長が「行政としてもきめ細かい努力をしていかなければならない。今日はみなさんのきたんのないご意見をお聞かせください。また、安中市でも取り組んでいる歴史民族資料館の誘致問題について、当市でも、県立で比江のどこかに」と県に対して運動を進めています。市をあげての取り組みが必要

です。みなさんもご協力ください」とあいさつしたあと、各課長が市政の現状を報告し、討議を行いました。

各課長の報告から主なものをひろってみると、

■企画財政課長
財政と企画を担当しているが、赤字のために「バラ色」の計画がたてられないのが残念です。市民のみなさんのご協力で表面的な赤字は解消したが、二つ

万円の予算がついており、三千万円が事業費、三千万円を用地費に。早々に地権者に話をしてご協力をお願いします。

ように思いますが、ぜひ実施できるように研究してください。

■新農構事業に限らず、補助事業はここ数年、農家の要望に近くような考え方でやってきました。今後その主旨は変わりませんが、新農構事業の問題は、本市へ一カ所ということで地域の割りふりなど、なお検討します。

■県道へんろ石—小笠原は、交通量も多いし一日も早く拡幅してください。

また、県道後免—領石線(鷺ヶ池中学校前へんろ石間)の拡幅もお願いします。

■へんろ石—小笠原は、今年六千万円の予算がついており、三千万円が事業費、三千万円を用地費に。早々に地権者に話をしてご協力をお願いします。

また、後免—領石線については、県に陳情し早期実現へ努力をします。

■下末松川を二千五百万円の予算で改修することですが、上から先にやり、下の一部(約五十町)がとり残されます。改修は下からやるべきではないでしょうか。

■稲作転換事業で実施します。下からやるのが当然ですが、部分的にでも事業を推進させていく意味で、ご協力をお願いします。

の公社の赤字は年々増えているのが現状です。本市の特性を生かした基本計画をたてなければなりません。

空港問題については、来年度から本格的な工事がはじまるのではないかと考えている。吾岡山の切り取りは、環境破壊として反対がある。跡地をどう使うか、など問題となっています。

■事務課長
本市の税収は、五十四年度が約十九億円、自然増などを考えると五十五年度は二十億円を超えます。現在、赤字が大きな問題となっていますが、県都である高知市は別格として、県下の他市と比べて本市は「底力」をもっているといえます。

固定資産税については、財政のため直しをはかり、標準税率百分の一・四(現行百分の一・七)に引き下げたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いします。

■福祉事務所長
保育所運営も福祉行政のなかで大きなウエイトを占めています。保育所の改築の要望が強く、今年の後免の改築を実施、来年は大森

を計画するなど、順次進めていかなければなりません。また、五十四年度でみると、團塊一人について年間四十万円が必要ですが、これに対して保護者の負担は一人当たり十五万円、差額二十五万円は市費や補助金でまかなっています。生活保護については、ほぼ横ばい状態で、毎月十世帯ぐらいの増減があります。これには、年間約十二億円が使われています。

■産業経済課長
広域農道については、昨年国分川にかかる橋の下部工事をしましたが、今年はその上部工事を、市道久礼田—豊永線(三畠と陣山の境界付近)まで供用できるように考えています。また、北部第二排水路(陣山—国分川)を約一億五千万円で今年実施したいと考えています。

■市民課長
国保税は上げたくありませんが、そうしなければ医師に払うお金が増ります。できるだけ補助金でまかないたいのですが、市民のみなさんに負担をお願いしなければなりません。

■昨年度、市民一人当りの使った医療費は約十一万七千円、これに対して国保税の一人当りの平均は約二万八千円です。昨年度の国保の総予算は約十六億九千万円でしたが、このうち約九千九百万円が医療費です。いかに医療費が高まっているか、ご理解ください。

■現在、黒滝へ持って行って処理していますが、距離がかなりあり、そうしたことが起こる大きな原因になっていると思います。昨年、業者との約束で中継そうを作るよう計画しましたが、地元の協力が得られず実現できませんでした。このため、中継そうの設置にかわるものを、今年四業者に一千万円を渡しました。業者では大型車

を購入したり、小型車の数を増やしたりしているため、今後改善されると思います。

地区のかかえている問題や市政について、二時間半あまり熱心な討議が行われましたが、最後に、別の会合に出席していた小笠原市長が会場に顔をみせ、「地元議員さんもみんなきており、まるで九月議会のリハーサルのようなようです。行政にたずさわる者として、地域の実情を反映した生の声を聞くことは、教養を高める意味で大切です。今日は貴重なご意見をいただきありがとうございます。と締めくくり、会を終りました。

■尿のくみ取りについて、業者の人にお願いしたら一週間ぐらい後ということでしたが、結局は何か月も待たされました。こんなことのないよう、市の方で指導してください。

■現在、黒滝へ持って行って処理していますが、距離がかなりあり、そうしたことが起こる大きな原因になっていると思います。昨年、業者との約束で中継そうを作るよう計画しましたが、地元の協力が得られず実現できませんでした。このため、中継そうの設置にかわるものを、今年四業者に一千万円を渡しました。業者では大型車

を計画するなど、順次進めていかなければなりません。また、五十四年度でみると、團塊一人について年間四十万円が必要ですが、これに対して保護者の負担は一人当たり十五万円、差額二十五万円は市費や補助金でまかなっています。生活保護については、ほぼ横ばい状態で、毎月十世帯ぐらいの増減があります。これには、年間約十二億円が使われています。

■産業経済課長
広域農道については、昨年国分川にかかる橋の下部工事をしましたが、今年はその上部工事を、市道久礼田—豊永線(三畠と陣山の境界付近)まで供用できるように考えています。また、北部第二排水路(陣山—国分川)を約一億五千万円で今年実施したいと考えています。

■市民課長
国保税は上げたくありませんが、そうしなければ医師に払うお金が増ります。できるだけ補助金でまかないたいのですが、市民のみなさんに負担をお願いしなければなりません。

■昨年度、市民一人当りの使った医療費は約十一万七千円、これに対して国保税の一人当りの平均は約二万八千円です。昨年度の国保の総予算は約十六億九千万円でしたが、このうち約九千九百万円が医療費です。いかに医療費が高まっているか、ご理解ください。

■現在、黒滝へ持って行って処理していますが、距離がかなりあり、そうしたことが起こる大きな原因になっていると思います。昨年、業者との約束で中継そうを作るよう計画しましたが、地元の協力が得られず実現できませんでした。このため、中継そうの設置にかわるものを、今年四業者に一千万円を渡しました。業者では大型車

を購入したり、小型車の数を増やしたりしているため、今後改善されると思います。

■尿のくみ取りについて、業者の人にお願いしたら一週間ぐらい後ということでしたが、結局は何か月も待たされました。こんなことのないよう、市の方で指導してください。

■現在、黒滝へ持って行って処理していますが、距離がかなりあり、そうしたことが起こる大きな原因になっていると思います。昨年、業者との約束で中継そうを作るよう計画しましたが、地元の協力が得られず実現できませんでした。このため、中継そうの設置にかわるものを、今年四業者に一千万円を渡しました。業者では大型車

また、討議の主な内容は、
■浦戸湾東部流域下水道計画については、今年二月市民を集めて説明会も開いたし、公聴会も開いた。しかし、その後は何の進展もない。途中で折断することのないよう、土佐山田町とタイアップして積極的に取り組んでほしい。

■行政のなかで当然必要な施策であり、現在、地権者への協力要請、また総合的な計画についてコンサルに依頼しています。高知市側の受け入れがなかなか難しく難行していますが、今年十一月頃には何とかメドがつきそうです。

■長岡小学校の建物の一部を借りている民具館(約一千点を保存)について、市当局をはじめ、地元のみなさんのご協力で感謝します。学校教材としても役立つので、保存は意義深いと思いますので、今後ともご協力をお願いします。

■満八十歳以上の老人に支給している長寿祝金(年間三千元)の額を引き上げてほしい。

■毎月千円、年額で一萬二千元ぐらいにはしたいと考えているが、とにかく市の財政が苦しくなにかそうはいきません。今後内部でも検討していきます。

■新しい農業構造改善事業が充足したと聞き、農協といっしょに先日市へ向ったが、その時の返事がどうも農家側にならなかつた

るか、ご理解ください。

また、討議の主な内容は、
■浦戸湾東部流域下水道計画については、今年二月市民を集めて説明会も開いたし、公聴会も開いた。しかし、その後は何の進展もない。途中で折断することのないよう、土佐山田町とタイアップして積極的に取り組んでほしい。

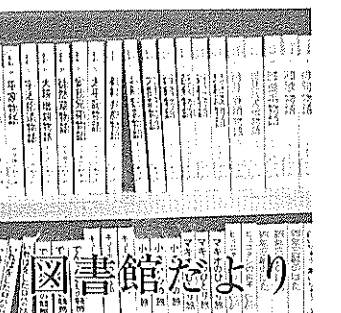
■行政のなかで当然必要な施策であり、現在、地権者への協力要請、また総合的な計画についてコンサルに依頼しています。高知市側の受け入れがなかなか難しく難行していますが、今年十一月頃には何とかメドがつきそうです。

同和教育研究大会

10月14日(火) 午前8時30分—9時まで大森小学校講堂で受付け。各会場に分かれ、分科会を行ったあと、市民体育館で全体会。

分科会の会場は、
○市民体育館—就学前教育
○中央公民館—社会教育、行政
○大森公民館—進路保障、高校
○大森小学校—健康教育・障害児教育・小学校低学年・中学年・高学年・中学校・子ども会活動

本との出会いを大切に



本を読むことは、他人の思想や感情に、また、新しい知識にふれることであるといえます。他人の語り口に文字を追いつながら、知を求めて積極的に立ち向うのが、読書でもあります。

市立図書館ではそのような本との出会いを大切にしていたために、できる限りの図書資料を提供しています。お気軽にご利用ください。

貸出しは、一人四冊まで、二週間の借りることができます。開館は、

月曜日から金曜日までが九時から五時まで、土曜日が九時から十二時までとなっています。休館は、日曜日・祭日・月末となっています。

《新刊案内》

▼マリコ(柳田邦男)▼父親(遠藤周作)▼子利休とその妻たち(三浦綾子)▼もくれん茶屋日記(雲輪瑞法)▼冬の光児(水上勉)▼足音が近づく(市川悦子)▼紫苑物語(石川淳)▼言葉の海へ(高田宏)▼ぼくにも音がある(関口哲也)▼原野に星は光る(山村輝夫)▼馬の岬(畑正憲)▼各駅停車

貴重な図書をいただきありがとうございます。さっそく市民の利用に役立てたいと考えています。よろしければ今後も引き続きお願いします。(敬称略)

図書のご寄贈 感謝します

車・高知(高知新聞社)▼一九七三年のピンボール(村上春樹)▼山中春満子(久礼田)▼竹内厚輔(稲生)▼西田常子(大地)▼坂本和俊・幸太郎(大地)▼藤本茂樹(田村)▼杉本薫(大地)▼森尾晃一(東崎)▼武市馨(大地)▼四国銀行

同和教育研究大会

10月14日(火) 午前8時30分—9時まで大森小学校講堂で受付け。各会場に分かれ、分科会を行ったあと、市民体育館で全体会。

分科会の会場は、
○市民体育館—就学前教育
○中央公民館—社会教育、行政
○大森公民館—進路保障、高校
○大森小学校—健康教育・障害児教育・小学校低学年・中学年・高学年・中学校・子ども会活動

同和教育研究大会